



千葉県立美術館 年報 No.45 平成30年度

April 2018 – March 2019

Annual Bulletin of Chiba Prefectural Museum of Art

目 次

ごあいさつ	1
沿革	2
平成30年度主要記事	4
展示事業	
1 アート・コレクション展	6
2 日本赤十字社所蔵美術展	12
3 企画展	14
4 千葉県移動美術館	16
5 ちばみなとのいま・そしてみらい展	17
6 アリシヤ・ロガルスカ展	18
7 You Will Find Me in the Garden	18
普及事業	
1 企画展関連事業	20
2 ワークショップ	21
3 実技講座	22
4 博学連携事業	23
5 地域連携事業	25
6 活動協力など	25
7 情報資料室	26
調査・収集事業	
1 平成30年度貸出資料一覧	28
2 平成30年度新収蔵資料一覧	29
3 平成30年度収蔵資料数一覧	29
管理運営	
1 組織	32
2 平成30年度職員	32
3 平成30年度利用状況	33
4 平成30年度利用案内	36
5 施設	37

ご あ い さ つ

千葉県立美術館は、昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様の様々な美術に対する要望にお応えできるよう努めておりますが、このたび、平成30年度の活動を取りまとめた「年報No. 45」を刊行いたします。

平成30年度は、企画展「中山忠彦－永遠の美を求めて－」を11月3日から平成31年1月20日までの61日間にわたって開催し、約9,000人の入場者をお迎えすることができました。また、42回目となる移動美術館については、茂原市立美術館・郷土資料館を会場に実施しました。本館が収蔵する作品の展示については、様々な視点で「近代洋画の先駆者 浅井忠」を紹介する展示を年間を通して行ったほか、「原勝郎と板倉鼎－それぞれの巴里－」、「ガラス工芸の魅力－光と色彩の饗宴－」、「具象彫刻展－具象彫刻の先駆者たち－」、「具象彫刻の今－彫刻家宮坂慎司と県美の収蔵作家たち－」、「コレクション名品展」、「北詰コレクション メタルアートの世界Ⅲ」など、個別のテーマに基づいて紹介する「アート・コレクション」を開催しました。また、日本赤十字社とともに「日本赤十字社所蔵美術展～いつまでも変わらない人道への想い～千葉県赤十字奉仕団創設70周年」を開催いたしました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会やワークショップを開催しました。さらに、子どもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうための「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを実施したほか、学校への出前授業である「出張鑑賞教室」にも取り組みました。また、県民の皆様の美術創作への意欲にお応えできるよう、美術の各分野にわたる実技講座を開催するとともに、その作品を展示する「美術館でつくろう展」も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の御指導と御支援をいただけますようお願いいたします。

令和元年12月

千葉県立美術館長

渡 辺 絹 代

■ 沿 革 ■

昭和44年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	昭和55年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
昭和45年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	昭和55年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
昭和45年7月24日	建設地として千葉公園に内定	昭和55年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
昭和45年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	昭和58年7月29日	美術普及コーナー開設
昭和46年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	昭和58年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
昭和46年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となり、代案として千葉市中央港埋立地を提示	昭和61年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
昭和47年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	昭和61年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
昭和47年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	昭和61年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
昭和47年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	昭和61年8月12日	講堂浸水防止工事完了
昭和47年9月21日	展示棟杭打工事着工	昭和62年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
昭和47年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	昭和62年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和47年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	昭和63年5月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
昭和48年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	昭和63年8月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
昭和48年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	昭和63年8月31日	展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
昭和49年3月31日	展示棟竣工	平成元年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
昭和49年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	平成元年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
昭和49年10月23日	開館記念式典開催	平成元年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
昭和49年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	平成元年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
昭和50年2月21日	管理棟杭打工事着工	平成2年6月8日	空調機改修工事完了
昭和50年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	平成2年9月29日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事着工
昭和50年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	平成2年11月7日	室内標識改修工事着工
昭和51年2月10日	管理棟竣工	平成3年1月31日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事完了
昭和51年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	平成3年2月20日	室内標識改修工事完了
昭和51年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	平成3年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了
昭和52年3月12日	彫刻の野外展示開始	平成3年4月1日	運営の一部を（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託
昭和52年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	平成4年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了
昭和53年1月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）	平成4年12月18日	食堂改修工事完了
昭和53年2月21日	美術普及棟の準備会発足	平成6年7月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
昭和53年10月17日	美術普及棟建築予算を計上	平成10年2月23日	ガス設備改修工事完了
昭和53年11月18日	浅井忠像完成除幕式	平成10年12月24日	空調設備改修工事完了
昭和53年11月30日	美術普及棟実施設計完了	平成11年6月5日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
昭和54年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称	平成12年3月30日	屋根材剥落補修工事完了
昭和54年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決	平成12年7月31日	点字ブロック設置工事完了
昭和54年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	平成12年7月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
昭和55年2月29日	県民アトリエ棟竣工	平成13年3月29日	屋根材剥落補修工事（第7展示室）完了
		平成14年3月25日	屋根材剥落補修工事（第6展示室）完了
		平成14年3月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
		平成14年3月25日	防犯カメラ改修工事完了
		平成14年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了

平成15年3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
 平成15年7月10日 空調設備改修工事完了
 平成16年4月18日 来館者500万人達成
 平成16年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描く－渡辺學の世界」開催
 平成17年8月20日 空調用インバータ装置改修工事完了
 平成18年3月21日 電話装置改修工事完了
 平成18年3月31日 アトリエ棟空調機修繕工事完了
 平成18年3月31日 (財)千葉県社会教育施設管理財団への運営委託終了
 平成21年3月31日 空調設備修繕工事完了
 平成22年3月25日 耐震補強事前調査完了
 平成23年3月11日 東日本大震災発生 3月末まで臨時休館
 平成23年6月17日 来館者600万人達成
 平成23年6月30日 耐震補強設計完了
 平成24年3月21日 耐震意匠設計完了
 平成24年12月12日 耐震改修等工事着工
 平成25年1月4日 耐震改修等工事により休館
 平成26年9月30日 耐震改修等工事竣工
 平成27年1月23日 開館40周年及び再開館記念式典開催
 平成27年1月24日 開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展－仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り－」を開催
 平成31年2月14日 エレベーター改修工事完了



第7展示室廊下



美術館外観 アトリエ側

■平成30年度主要記事■

- 4月21日 アート・コレクション「原勝郎と板倉鼎-それぞれの巴里-」(～7/8)
- 4月21日 アート・コレクション「近代洋画の先駆者 浅井忠7-浅井忠のドローイング-」(～7/8)
- 4月21日 アート・コレクション「ガラス工芸の魅力-光と色彩の饗宴-」(～7/8)
- 5月5日 第1回ワークショップ「こどもの日記念カンパジをつくろう」
- 5月16日 実技講座「陶芸(基礎)」(5/17・18・24・6/6・14)
- 6月2日 幕張総合高校美術館講座(6/9・15・16・23・7/1・15)
- 6月16日 第2回ワークショップ「きらめきガラスであーと」
- 6月20日 幕張中学校職場体験(～6/21)
- 7月4日 実技講座「陶芸(中級)」(7/5・6・12・25・26・8/9)
- 7月14日 「日本赤十字社所蔵美術展～いつまでも変わらない人道への想い～千葉県赤十字奉仕団創設70周年」(～9/24)
- 7月14日 アート・コレクション「近代洋画の先駆者 浅井忠8-浅井忠と周辺作家たち-」(～9/24)
- 7月24日 千葉市中堅教諭等資質向上研修社会体験研修(7/25・26)
- 7月31日 インターンシップ(8/1・2)
- 8月21日 「ちばみなとのいま・そしてみらい」(～9/9)
- 8月22日 博物館実習(～8/28)
- 8月25日 第3回ワークショップ「ぼくたちがつくるみらいの千葉みなと」
- 8月28日 第42回千葉県移動美術館 近代日本とフランス-旅するまなざし-(～9/9)
会場：茂原市立美術館・郷土博物館
- 9月2日 千葉県移動美術館関連ギャラリートーク
- 9月19日 川戸中学校職場体験(～9/20)
- 9月29日 第4回ワークショップ「オリジナルモノレールをつくろう」
- 10月20日 ちばモノレール祭り2018
会場：萩台車両基地
- 10月27日 実技講座「ホリデーアート・蜜蝋画Ⅰ」(～10/28)
- 10月27日 ワークショップ「100人ワークショップ・等身大から始めよう2018」
- 11月3日 企画展「中山忠彦ー永遠の美を求めてー」(～1/20)
- 11月3日 千葉湊大漁まつり 会場：ケーズハーバー隣緑地
- 11月4日 中山忠彦展関連ギャラリートーク(11/18)
- 11月7日 千葉聖心高校インターンシップ(～11/8)
- 11月7日 蘇我中学校・幸町第二中学校職場体験(～11/8)
- 11月8日 実技講座「金工(鍛金)」(11/13・15・20・22・27・29)
- 11月14日 花園中学校・緑町中学校・磯辺中学校職場体験(～11/15)
- 11月17日 中山忠彦展関連ワークショップ「じぶんサイズあーと」
- 11月17日 成田アート博覧会(～12/2)
会場：成田山参道
- 11月20日 「アリシヤ・ロガルスカ：闇に唄えば」(～12/2)
- 11月24日 中山忠彦展記念対談「中山忠彦の美をめぐって」
- 12月1日 実技講座「ホリデーアート・蜜蝋画Ⅱ」(～12/2)
- 12月9日 中山忠彦展関連ギャラリートーク(12/23)
- 1月12日 中山忠彦展関連ギャラリートーク(1/13)
- 1月19日 「You Will Find me in the Garden」(～1/23)
- 1月25日 実技講座「篆刻-オリジナルの雅印をつくろう-」(2/1・8・15)
- 1月29日 アート・コレクション「具象彫刻展-具象彫刻の先駆者たち-」(～4/14)
- 1月29日 アート・コレクション「コレクション名品展-バルビゾン派の画家たちを中心に-」(～4/14)
- 1月29日 アート・コレクション「近代洋画の先駆者 浅井忠9-浅井忠の京都時代-」(～4/14)
- 1月29日 アート・コレクション「北詰コレクション メタルアートの世界Ⅲ-彫金の世界-」(～4/14)
- 1月29日 アート・コレクション・プラス「具象彫刻の今-彫刻家宮坂慎司と県美の収蔵作家たち-」(～4/14)
- 2月16日 第5回ワークショップ「粘土で遊ぼう-彫刻家になってみよう-」
- 3月5日 浅井忠「藁屋根」「漁婦」、千葉県指定有形文化財[絵画]に指定
- 3月5日 実技講座展覧会「美術館とつくろう」展(～3/17)
- 3月16日 具象彫刻の今展関連ギャラリートーク「彫刻に触れる・タッチツアーへようこそ!」
- 3月16日 芸術文化講演会「彫刻の世界」講師：神戸峰男

■ 展 示 事 業 ■
Exhibition

1 アート・コレクション展

原勝郎と板倉鼎－それぞれの巴里－

20世紀初頭、パリには多くの芸術家が動機もさまざまに集い、活動した。本展では、当館所蔵品の中から、1920年代にパリに渡った千葉県ゆかりの洋画家である原勝郎と板倉鼎の油彩画およびスケッチと、関連作家の作品を紹介した。

【会 期】 平成30年4月21日（土）～7月8日（日）

【開催日数】 68 日間

【会 場】 第1・2展示室

【展示点数】 32 点

No.	作家名	作品名	制作年
1	原勝郎	街灯のある風景	1930
2	原勝郎	モンマルトル	1935
3	原勝郎	横向きの夫人像	1948
4	原勝郎	コーヒーひき	1949
5	原勝郎	京橋	1955
6	原勝郎	窓と静物	不詳
7	原勝郎	山	1955
8	原勝郎	森（A）	1955
9	原勝郎	森（C）	1955
10	原勝郎	樹	1955
11	原勝郎	樹	1955
12	原勝郎	デッサン（B）	不詳
13	原勝郎	デッサン（C）	不詳
14	原勝郎	デッサン（D）	不詳
15	原勝郎	デッサン（H）	不詳
16	原勝郎	デッサン（M）	不詳
17	高田博厚	マハトマ・ガンジー	1960
18	木内克	石版画三葉集 1.一声	1977
19	木内克	石版画三葉集 2.樹下の裸婦	1977
20	木内克	石版画三葉集 3.手をくむ女	1977
21	板倉鼎	静物	1927
22	板倉鼎	金魚と雲	1928
23	板倉鼎	金魚	1928
24	板倉鼎	裸婦	1929
25	板倉鼎	巴里風景	1929
26	中西利雄	南仏風景	1930
27	中西利雄	トリエール・シュール・セーヌ	1930
28	堀江正章	耕地整理図	1901-02
29	堀江正章	西村房太郎氏祖母像	1926-30頃
30	堀江正章	西村房太郎像	1926-30
31	黒田重太郎	浴後	1927
32	黒田重太郎	女と小犬	1928



アート・コレクション
「原 勝郎と板倉 鼎－それぞれの巴里－」
会場風景



アート・コレクション
「原 勝郎と板倉 鼎－それぞれの巴里－」
展示風景

近代洋画の先駆者

浅井 忠 7ー浅井忠のドローイングー

収蔵作品による千葉県ゆかりの近代洋画の先駆者、浅井忠の活動を顕彰する展覧会。浅井のドローイング（素描）に注目し、幼年期の練習帳、従軍時のスケッチブック、絶筆《大津絵》など、生涯の作品を紹介した。

【会 期】 平成30年4月21日（土）～7月8日（日）
 【開催日数】 68 日間
 【会 場】 第3展示室
 【展示点数】 27 点

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井忠	槐庭時代画帳	1864－1866
2	浅井忠	鍛冶橋	1878頃
3	浅井忠	曳舟通り	1885
4	浅井忠	房州白浜	1887
5	浅井忠	旅順戦後の搜索	1895
6	浅井忠	スケッチブック(7)	不詳
7	浅井忠	西洋婦人	1901-1902
8	浅井忠	馬二態	1902-1907
9	浅井忠	田植之図	1889
10	浅井忠	ほしかき	1890-1897
11	浅井忠	虎図	1902-1907
12	浅井忠	虎	1902-1907頃
13	浅井忠	亀の図	1902-1907
14	浅井忠	牛と天神	不詳
15	浅井忠	山賊(4人)	不詳
16	浅井忠	大津絵 金太郎	1907
17	浅井忠	大津絵 弁慶に釣鐘	1907
18	浅井忠	大津絵 デッサン4種	1907
19	浅井忠	下絵「ラッパを吹く物売」	不詳
20	浅井忠	スケッチ「蛙図・耕作図」	不詳
21	浅井忠	スケッチ「船」	不詳
22	浅井忠	浅井忠画 池辺義象歌	1902-1907
23	浅井忠	犬と人力車	1905
24	浅井忠	武士山狩図下絵	1907
25	浅井忠	向付皿	1902-1907
26	浅井忠	茶器	1902-1907
27	浅井忠	図案画稿	1902-1907

ガラス工芸の魅力ー光と色彩の饗宴ー

収蔵作品のうち、千葉県ゆかりのガラス工芸家や日本近代ガラス工芸の発展に貢献した作家の中から岩田藤七、各務鑑三、藤田喬平、石井康治を取り上げ、素材の持つ透明感、光を透した色彩の輝き、変化にとんだ形態などガラス工芸の魅力を紹介した。

【会 期】 平成30年4月21日（土）～7月8日（日）
 【開催日数】 68 日間
 【会 場】 第8展示室
 【展示点数】 21 点

No.	作家名	作品名	制作年
1	岩田藤七	盛器	1969
2	岩田藤七	水指	1971
3	岩田藤七	花器	1974
4	岩田藤七	貝	1974
5	岩田藤七	瓶	1975
6	岩田藤七	茶碗	不詳
7	各務鑑三	水指	不詳
8	各務鑑三	花瓶	不詳
9	藤田喬平	流動三彩	1965
10	藤田喬平	華	1969
11	藤田喬平	ヴェニス賛歌	1983
12	藤田喬平	三彩鉢	1984
13	藤田喬平	平水指	2002
14	藤田喬平	ヴェニス花鉢	2003
15	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003
16	藤田喬平	飾宮・紅白梅	1995頃
17	藤田喬平	飾宮・夢殿	不詳
18	石井康治	環象文器	1993
19	石井康治	彩花文器	1995
20	石井康治	調	不詳
21	石井康治	北溪	不詳

近代洋画の先駆者

浅井 忠 8－浅井忠と周辺作家たち－

浅井がフランスのグレー村に滞在していた時期に注目し、浅井の作品と友人たちの作品、相互に送った絵葉書を紹介。さらにグレー村近くの、浅井が影響を受けたバルビゾン村で活動したミレーなどバルビゾン派の作品を併せて紹介した。

【会 期】 平成30年7月14日(土)～9月24日(月・祝)
 【開催日数】 63 日間
 【会 場】 第3展示室
 【展示点数】 38 点

No	作家名	作品名	制作年
1	浅井忠	漁婦	1897
2	新海竹太郎	老馬	1921
3	浅井忠	西洋婦人	1901-1902
4*	浅井忠	パリでの記念写真	1900-1901
5*	浅井忠	スケッチブック(6)	不詳
6*	田中松太郎 (半七)	浅井忠宛絵葉書	1901
7	浅井忠	グレーの塔	1901
8*	浅井忠	浅井忠使用滞歐時代手帳	1901
9*	箕作元八	浅井忠宛絵葉書	1901
10*	箕作元八	浅井忠宛絵葉書	1901
11*	浅井忠	塚本靖宛絵葉書	1901
12*	和田英作	塚本靖宛絵葉書	1901
13*	渡辺和太郎	浅井忠宛絵葉書	1902
14*	渡辺和太郎	浅井忠宛絵葉書	1900-1901
15	浅井忠	フォンテンブローの夕景	1901
16*	塚本靖	フォンテンブロー宮殿	1901
17*	塚本靖	グレーの古城址	1901
18	和田英作	塚本靖肖像	1901
19	浅井忠	フォンテンブローの森	1901
20	鹿子木孟郎	裸女と野花	不詳
21	浅井忠	絵皿	1901-1902
22	浅井忠	花瓶	1902-1907
23*	浅井忠	塚本靖宛絵葉書	1901
24*	浅井忠	花木	1902-1907
25*	浅井忠	「寒月・水仙」	1901
26*	久保田米斎	浅井忠宛絵葉書	1901
27*	久保田米斎	浅井忠宛絵葉書	1901
28*	田中松太郎 (半七)	浅井忠宛絵葉書	1902
29	ルソー	バルビゾンの農場	1850-1855 頃
30	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
31	コロー	フォンテンブローの風景	1830-1835 頃

32	コロー	フォンテンブローの石切場	1835-1840
33	浅井忠	農婦	1902
34	中沢岩太	浅井絵葉書	1900-1902
35*	浅井忠	塚本靖宛書簡	不詳
36*	塚本靖	ローマの部屋	1902頃
37	浅井忠	中沢岩太	1903
38	浅井忠	洋上の夕陽	1902

*印は研究資料

具象彫刻展－具象彫刻の先駆者たち－

具象とは、人物や動物などの身近な具体物を意味し、彫刻とは、主に立体の美術作品を示す用語である。日本の近代彫刻の先駆者、小倉惣次郎、高村光太郎、千葉県出身の長谷川昂などの作品で構成し、具象彫刻の魅力を紹介した。

【会 期】 平成31年1月29日(火)～4月14日(日)
 【開催日数】 66 日間
 【会 場】 第1・2展示室
 【展示点数】 26 点

No	作家名	作品名	制作年
1	小倉惣次郎	明治天皇像	1913頃
2	小倉惣次郎	伊藤博文像	1909頃
3	新海竹太郎	老馬	1921
4	高村光太郎	裸婦座像	1916頃
5	高村光太郎	手	1918
6	高村光太郎	十和田裸婦像のための「手」	1952
7	高村光太郎	十和田裸婦像のための中型試作	1953
8	北村西望	二人の天女	1924
9	毛利教武	手	1919
10	高田博厚	マハトマ・ガンジー	1960
11	本郷新	裸婦	1952
12	大須賀力	或るポーズ	1988
13	大須賀力	もたれる	1957
14	本田晶彦	腰かけの女	1966
15	安西順一	秋晴	1948
16	菊池一雄	手を挙げる ※第7展示室で 常設展示	1977
17	長谷川昂	朝	1979
18	長谷川昂	安息	1966
19	舟越保武	婦人像	1985
20	石井滋	大地	1981
21	島田勝吾	少女と鳥	1981-1982
22	神野義衛	呻	1972
23	久保田徹通	さりげなく	1985
24	吉野毅	わか女	1986
25	三木俊治	北国からの男	1973
26	頼永興	心海悠遊	1997

近代洋画の先駆者

浅井 忠 9－浅井忠の京都時代－

浅井忠がフランスから帰国し、晩年を過ごした京都時代を紹介。「水彩画」「デザイン」「関西画壇の育成」という3つの視点から、精力的に活動していた京都時代の浅井の作品、研究資料を展示した。

【会 期】 平成31年1月29日（火）～4月14日（日）
 【開催日数】 66 日間
 【会 場】 第3展示室
 【展示点数】 20点

No	作家名	作品名	制作年
1	浅井忠	中沢岩太像 ＊前期展示	1903
2	浅井忠	京都高等工芸学校の庭 ＊後期展示	1903
3	浅井忠	つばきの図	不詳
4	浅井忠	かぶとの図	1902-1907
5	浅井忠	帆船の図	1907
6	浅井忠	壺と花瓶	1902-1907
7	浅井忠	向付皿	1902-1907
8	浅井忠 （図案） 河村蜻山 （制作）	桔梗文花瓶	1902-1907
9	浅井忠	天燈鬼型スタンド	1902-1907
10	浅井忠	百鬼夜行	1902-1907
11	浅井忠	茶器「猿蟹合戦ノ図」	1902-1907
12	浅井忠	大津絵 鬼の風呂	1907
13	浅井忠	大津絵 弁慶	1907
14	浅井忠	大津絵 金太郎	1907
15	浅井忠	東宮御所壁飾草稿（1）	1905
16	浅井忠	東宮御所壁飾草稿（2）	1905
17	伊藤快彦	林檎	昭和初期頃
18	都鳥英喜	海浜風景	1909
19	鹿子木孟郎	風景	不詳
20	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937

北詰コレクション

メタルアートの世界Ⅲ

印西市で金工専門の美術館「メタルアートミュージアム・光の谷」を運営していた北詰氏によるコレクションの中から、金属を彫って表現する「彫金」の技法に注目し、北原千鹿、信田洋、帖佐美行など著名な作家の作品を紹介した。

【会 期】 平成31年1月29日（火）～4月14日（日）
 【開催日数】 66 日間
 【会 場】 第3展示室
 【展示点数】 11 点

No	作家名	作品名	制作年
1	北原千鹿	芽生文金彩銀壺	1923
2	北原千鹿	蓼函	1927
3	大須賀喬	金彩素銅飾皿	不詳
4	信田洋	黄銅香炉	1931
5	鴨幸太郎	手筈	1940
6	鴨政雄	双蝶紋額	不詳
7	岡部達男	童児遊戯花瓶	不詳
8	三井義夫	山女魚飾盆	不詳
9	山脇洋二	金彩馬	不詳
10	帖佐美行	谷間の蘭花	不詳
11	帖佐美行	霧風香炉	不詳

コレクション名品展 ーバルビゾン派の画家たちを中心にー

ミレーやコローなどバルビゾン派の作家の作品を一堂に展示し、これに関連して自然をモチーフとした日本画、洋画(油彩画、水彩画)、版画、工芸(ガラス工芸)の日本近・現代美術の名品を、収蔵作品の中から紹介した。

【会 期】 平成31年1月29日(火)～4月14日(日)

【開催日数】 66日間

【会 場】 第8展示室

【展示点数】 34点

No	作家名	作品名	制作年
1	コロー	フォンテンブローの風景	1830-35
2	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860-65
3	ルソー	バルビゾンの農場	1850-55
4	ディアズ	森の中の農婦	1868
5	トロワイヨン	河辺の道	1860-65
6	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860
7	ジャック	森の中	1871
8	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
9	デュブレ	嵐の前	不詳
10	クールベ	嵐	1865
11	クールベ	雪の中の小鹿	1869
12	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
13	浅井 忠	小丹波村	1893
14	浅井 忠	藁屋根	1887
15	安井曾太郎	熱海附近	1929
16	梅原龍三郎	皇居	1980
17	岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
18	椿 貞雄	犬吠埼	1948
19	大下藤次郎	紫陽花	1904
20	三宅克己	小諸城址	1900
21	中西利雄	南仏風景	1930
22	小堀 進	霞ヶ浦	1973
23	石井林響	夜道を駆ける人	不詳
24	富取風堂	朝光	1931
25	吉岡堅二	濤	1939
26	東山魁夷	春雪	1973
27	関 主税	晨	1984
28	松尾敏男	原野	1971
29	星 襄一	野の木 (A)	1978
30	浜口陽三	野	1985
31	野田哲也	Diary:May 7th '86 in Nara	1986
32	藤田喬平	岳	1968
33	藤田喬平	飾宮・湖上の花	1980
34	藤田喬平	飾宮・瑞光	1998

アート・コレクション・プラス

具象彫刻の今

ー彫刻家宮坂慎司と県美の収蔵作家たちー

塑造という手法からモルタルを中心とした素材の味わいを追及し、具象彫刻に独自の世界を切り開こうとする若手作家のひとり、宮坂慎司の彫刻作品と、当館収蔵の郡司和男、平戸眞の彫刻作品2点に加えて、宮坂の母校である筑波大学で教鞭をとった柴田良貴、上野弘道の彫刻作品2点を併せて展示し、素材に残された彫刻行為の痕跡を通じて具象彫刻の魅力を味わう機会とした。

【会 期】 平成31年1月29日(火)～4月14日(日)

【開催日数】 66日間

【会 場】 第7展示室

【展示点数】 16点

No	作家名	作品名	制作年	場所
1	宮坂慎司	甘雨	2006	個人
2	宮坂慎司	雨の端	2007	個人
3	宮坂慎司	遺標	2011	個人
4	宮坂慎司	遺標-踊-	2012	個人
5	宮坂慎司	yocto	2013	個人
6	宮坂慎司	yocto-o-	2015	個人
7	宮坂慎司	utsusemi	2015	個人
8	宮坂慎司	utsusemi-冬-	2016	個人
9	宮坂慎司	utsusemi-春-	2016	個人
10	宮坂慎司	utsusemi-実-	2018	個人
11	宮坂慎司	singing shell	2018	個人
12	宮坂慎司	shell	2018	個人
13	郡司和男	詩人の肖像	1976	千葉県立美術館
14	平戸眞	脱	1982	千葉県立美術館
15	上野弘道	なくおんな	1972	個人
16	柴田良貴	夏の倚像	2012	個人



「ガラス工芸の魅力ー光と色彩の饗宴ー」
会場風景



「具象彫刻展ー具象彫刻の先駆者たちー」
会場風景



「コレクション名品展ーバルビゾン派の画家たちを中心にー」
会場風景



アート・コレクション「浅井忠9」
「メタルアートの世界Ⅲ」
会場風景



「具象彫刻の今
ー彫刻家宮坂慎司と県美の収蔵作家たちー」
会場風景

2 日本赤十字社所蔵美術展

～いつまでも変わらない人道への想い～

千葉県赤十字奉仕団創設70周年

小磯良平、東郷青児、東山魁夷など、赤十字活動の理念である「人道」に共感した、日本美術を代表する作家たちが寄贈した、日本赤十字社所蔵美術コレクションを紹介する展覧会。日本画、洋画、工芸など約60点の多彩なコレクションを展示したほか、日本赤十字社の人道的活動についてパネル展示によって紹介した。

【会 期】 平成30年7月14日(土)～9月24日(月・祝)

【開催日数】 63 日間

【会 場】 第1・2・8展示室

【展示点数】 55 点

【入場者数】 7,492 名

【関連事業】 夏休み親子ギャラリートーク

8月4日(土) 13:30～14:30

8月11日(土・祝) 13:30～14:30

No	作家名	作品名	制作年
1	楠部彌弐	彩壇花宴	不詳
2	酒井田柿右衛門(13代)	染錦花鳥文花瓶	不詳
3	濱田庄司	鉄絵花瓶	不詳
4	坂高麗左衛門	萩焼茶碗	不詳
5	各務鑛三	クリスタル花瓶	不詳
6	丸谷端堂	日月文白銅吊花生	不詳
7	丸谷端堂	銅花器	昭和44 (1969)
8	帖佐美行	白い鳳凰	不詳
9	五姓田芳柳(二世)	吉野山大観望	昭和10 (1935)
10	藤田嗣治	佛印メコンの廣野	昭和19 (1944)
11	荻須高德	僧院の回廊	昭和48 (1973)
12	寺田春弐	春を呼ぶ荒野	昭和48 (1973)
13	朝比奈文雄	早春	不詳
14	鬼頭鍋三郎	信濃の春(森村杏花)	不詳
15	相原求一朗	潮騒の丘	平成4 (1992)
16	村田省蔵	冬木立	平成6 (1994)
17	武田範芳	サントリーニ島	不詳
18	織田廣喜	シャンゼリゼの風景	平成8 (1996)
19	小磯良平	集い	昭和52 (1977)
20	梅原龍三郎	パリス審判図	昭和14 (1939)
21	鈴木信太郎	椅子にのる人形	昭和24 (1949)
22	島田章三	埴輪と女	昭和52 (1977)
23	杉本健吉	牡丹	昭和52 (1977)

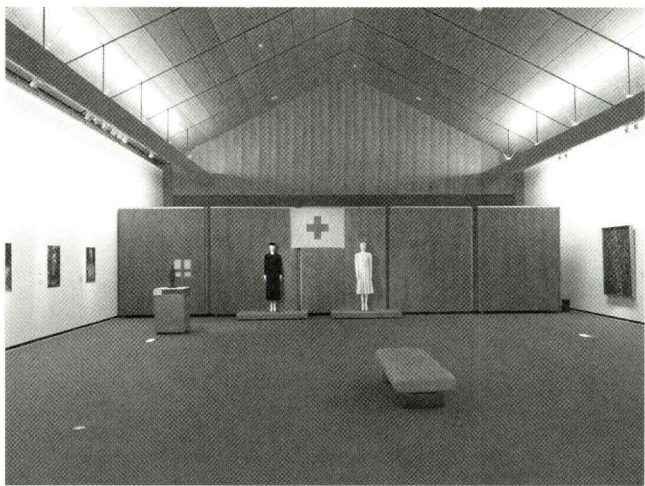
24	伊藤簾	バンジー	不詳
25	鈴木千久馬	花菖蒲	不詳
26	青山義雄	アネモネ	平成5 (1993)
27	山本日子士良	鶴飼	不詳
28	永瀬義郎	浪漫(版画集「浪漫」)	昭和53 (1978)
29	永瀬義郎	水の妖精(版画集「浪漫」)	昭和53 (1978)
30	南城一夫	暁のピエロ(南城一夫石版画集)	不詳
31	南城一夫	テニスコート(南城一夫石版画集)	不詳
32	東山魁夷	晴れゆく朝霧	昭和54 (1979)
33	石川響	海	不詳
34	浦田正夫	かずら	不詳
35	石踊達哉	秋涼	不詳
36	森白甫	白鳥	不詳
37	結城天童	爛漫(月山)	不詳
38	常盤大空	長安の女	昭和52 (1977)
39	西山英雄	聖堂の月	不詳
40	三輪晃勢	葉かげ	昭和38 (1963)
41	東郷青児	ナース像	昭和49 (1974)
42	東郷青児	ソルフェリーノの啓示	昭和52 (1977)
43	増田誠	ソルフェリーノのアンリ・デュナン	昭和54 (1979)
44	増田誠	アンリー・デュナン肖像	不詳
45	寺崎武男	第15回赤十字国際会議の図	不詳
46	菊池一雄	救護看護婦立像(ミニチュア)	不詳
47	ポスター	第1回赤十字デー どなたも社員になりませう	昭和8 (1933)
48	ポスター	赤十字デー	昭和初期
49	ポスター	赤十字デー 長期戦 一億民が赤十字	昭和16 (1941)
50		看護衣(複製)	
51		救護員制服(複製)	

参考写真

1	菊池一雄	救護看護婦立像	昭和52 (1977)
2	高田博厚	アンリー・デュナン胸像	昭和52 (1977)
3	高田博厚	佐野常民胸像	昭和52 (1977)
4	五姓田芳柳(二世)	関東大震災時の皇居前ん日赤救護所の風景	大正14 (1925)



夏休み親子ギャラリートーク



「日本赤十字社所蔵美術展」
会場風景



日本赤十字社所蔵美術展

—いつまでも変わらない人道への想い—

千葉県赤十字華仕団創設70周年

平成30年
7.14~9.24

土 月・休

開催時間 9時~16時30分

入場 全 月曜日(休館日)は要予約

入場料 大人 300円(240円)
高校・大学生 150円(120円)

※ 千葉県立美術館 第1・2・3展示室

〒260-0201 千葉県千葉市中央区新大塚1-1-1 TEL:043-841-6371
<http://www.chiba-museum.jp>

主催 千葉県立美術館 協賛 千葉県立美術館 協賛 千葉県立美術館

後援 千葉県立美術館 協賛 千葉県立美術館 協賛 千葉県立美術館

千葉県立美術館

〒260-0201 千葉県千葉市中央区新大塚1-1-1

※ 1993年開館以来、これまで「人」の歴史をテーマに、国内外の美術家を招聘し、さまざまな企画展を開催。その中でも、赤十字の人道精神をテーマにした展覧会を開催。今回の展覧会は、日本赤十字社所蔵の美術作品を展示し、人道精神を伝える。

13

3 企画展

中山忠彦 ー永遠の美を求めてー

日本芸術院会員で、日展理事長などを務め、白日会の会長としても活躍している千葉県市川市在住の洋画家中山忠彦(昭和10年～)は夫人をモデルとする気品あふれる女性美を追求した作品で人気が高く、現在の日本洋画壇を代表する洋画家の1人である。初期の作品から現在に至るまでの画業をたどり、併せてモデルが着用した貴重な衣装なども展示し、中山忠彦の美の世界を展覧した。

【会 期】 平成30年11月3日(土・祝)～
平成31年1月20日(日)

【開催日数】 61 日間

【会 場】 第1・2・3・8展示室

【展示点数】 74 点

【入場者数】 8,829 名

【関連事業】 ギャラリートーク

11月11日(日) 13:30～ 18人

11月25日(日)13:30～ 15人

12月9日(日)13:30～ 18人

12月23日(日)13:30～ 14人

1月12日(土)13:30～ 21人

1月13日(日)13:30～ 51人

No.	作家名	作品名	制作年	所蔵者等
1	中山忠彦	窓辺	1954	中津市木村記念美術館蔵
2	中山忠彦	M君	1959	
3	中山忠彦	二人	1963	
4	中山忠彦	裸婦習作	1958	
5	中山忠彦	裸婦習作	1958	
6	中山忠彦	群像	1964	
7	中山忠彦	群像	1966	
8	中山忠彦	椅子に倚る	1969	中津市木村記念美術館蔵
9	中山忠彦	サッフォー	1972	
10	中山忠彦	アブリアの壺	1973	株式会社ヤマタネ蔵
11	中山忠彦	モラヴィアの装い	1975	大分県立美術館蔵
12	中山忠彦	青衣	1976	
13	中山忠彦	リリアンの肖像	1976	
14	中山忠彦	暖炉の前	1977	
15	中山忠彦	ケーブを纏う	1978	コモンズ株式会社蔵
16	中山忠彦	粧	1978	
17	中山忠彦	花冠	1979	
18	中山忠彦	妝う	1980	
19	中山忠彦	粧春	1981	
20	中山忠彦	縞衣	1981	
21	中山忠彦	青衣立像	1983	

22	中山忠彦	小憩	1983	衆議院蔵
23	中山忠彦	玄裳	1985	
24	中山忠彦	花装	1986	
25	中山忠彦	古風な装い	1987	
26	中山忠彦	碧い首飾り	1988	
27	中山忠彦	鏡花	1989	市川市蔵
28	中山忠彦	青衣	1990	大分県立美術館蔵
29	中山忠彦	マスク	1991	
30	中山忠彦	MADAME YOSHIE NAKAYAMA	1992	
31	中山忠彦	綵花	1994	
32	中山忠彦	オービュッソンのタビスリ	1995	
33	中山忠彦	華粧	1996	日本芸術院蔵
34	中山忠彦	黒扇	1997	大分県立美術館蔵
35	中山忠彦	小憩	1998	
36	中山忠彦	サロンにて	1999	
37	中山忠彦	花容	2001	
38	中山忠彦	白扇	2002	
39	中山忠彦	古風な帽子	2003	
40	中山忠彦	花のある部屋	2004	
41	中山忠彦	両洋の華	2005	
42	中山忠彦	絵扇	2005	
43	中山忠彦	花と裸婦	2006	
44	中山忠彦	シャンティー・ショール	2007	市川市蔵
45	中山忠彦	白い扇	2007	
46	中山忠彦	四十五年目の良江	2008	
47	中山忠彦	ダンテの椅子	2009	
48	中山忠彦	ロイヤル・パープル	2010	
49	中山忠彦	トワ・エ・モア	2010	
50	中山忠彦	縞衣立像	2011	
51	中山忠彦	E・ガレのある部屋	2011	
52	中山忠彦	丹紫紅	2012	
53	中山忠彦	縞衣華粧	2012	
54	中山忠彦	羽毛を纏う	2013	
55	中山忠彦	アヴェ・マリア	2013	
56	中山忠彦	黒扇	2014	
57	中山忠彦	メタモルフォーズ	2014	
58	中山忠彦	トワ・エ・モア50年	2015	
59	中山忠彦	閨秀書家K先生像	2015	
60	中山忠彦	早暁のミモザ	2016	
61	中山忠彦	衣裳室にて	2016	
62	中山忠彦	杏沙妃二十歳	2017	
63	中山忠彦	私とは誰か?	2017	
64	中山忠彦	M・H嬢立像	2018	
65	中山忠彦	初めての良江	1963	
66	中山忠彦	耳飾り I	1980	
67	中山忠彦	ナタリー	1982	
68	中山忠彦	クロード	1982	
69	中山忠彦	古風な帽子	1982	
70	中山忠彦	襟かざり	1984	
71	中山忠彦	羽根かざりの帽子	1987	

4 千葉県移動美術館

近代日本とフランス―旅するまなざし

県立美術館の収蔵作品の中から、日本近代の作家たちと彼らに大きな学びをもたらしたフランスの作家たちによる作品のほか、茂原市ゆかりの作家である石川響、関主税らによる作品を出品した。

【会 期】 平成30年8月28日（火）～9月9日（日）

【開催日数】 13日間

【会 場 名】 茂原市立美術館・郷土資料館
第1・2展示室

【展示点数】 42 点

【入場者数】 1,161 名

【主 催】 茂原市立美術館・郷土資料館
千葉県立美術館

31	浜口陽三	パリの屋根	1956
32	浜口陽三	くるみ	1971
33	浜口陽三	テーブル掛けとさくらんぼ	1971
34	高村光太郎	手	1918
35	高村光太郎	裸婦座像	1916頃
36	津田信夫	北辺夜猫子	1941
37	津田信夫	兎	不詳
38	今関啓司	浅春山路	1943
39	石川響	小湊の朝	1999
40	石川響	天地交響（ポロブドール）	1984
41	関主税	潤声	1977
42	関主税	晨	1984



千葉県移動美術館会場（茂原市立美術館・郷土資料館）



千葉県移動美術館 展示室

No	作家名	作品名	制作年
1	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
2	ジャック	森の中	1871
3	ローランス	カルカッソヌの幽閉者の解放	不詳
4	コラン	田園詩	1903
5	クールベ	眠る人	1853
6	ビゴー	稲毛村のわがアトリエ	1892-1897 頃
7	ビゴー	稲毛の女漁師と子ども	1892-1897 頃
8	ビゴー	女漁師	1892-1897 頃
9	ビゴー	漁師と舟	1892-1897 頃
10	浅井忠	小丹波村	1893
11	浅井忠	男性裸像	1901
12	浅井忠	巴里婦人	1902-1907 頃
13	浅井忠	欧州風景	1902-1903
14	浅井忠	あひる	1902-1907
15	浅井忠	花	1902-1907
16	浅井忠	欧州市場風俗	1903
17	松岡寿	森と小川	1895
18	鹿子木孟郎	風景	不詳
19	石井柏亭	冬の朝（行徳）	1909
20	石井柏亭	印度洋上	1910
21	三宅克己	ローマ	1920
22	都鳥英喜	婦人像	1919頃
23	都鳥英喜	巴里郊外サンクール	1920
24	黒田重太郎	浴後	1927
25	板倉鼎	裸婦	1929
26	原勝郎	モンマルトル	1935
27	岡田三郎助	デッサン（裸婦）	不詳
28	安井曾太郎	デッサン（裸婦）	1907
29	安井曾太郎	デッサン（裸婦）	1907
30	原勝郎	デッサン（D）	不詳

5 ちばみなとのいま・そしてみらい

隣接する港湾地域が「みなとオアシス千葉みなと」に登録されたことを記念する事業として開催した、千葉市みなと活性化協議会を核とする連携展示である。当館が企画し、千葉ポートタワーと千葉県立美術館を会場に実施した。第1会場の千葉ポートタワーでは、千葉港中央地区臨海公園計画をはじめとする大高正人の都市デザイン中心に主にパネルで紹介した。第2会場の千葉県立美術館では、千葉港の歴史、現在の千葉港及びみなとオアシスについて主にパネルで紹介した。

【会場】 第1会場 千葉ポートタワー
1階市民ギャラリー

第2会場 千葉県立美術館第7展示室

【会期】 第1会場 平成30年8月21日（火）
～9月9日（日）
第2会場 平成30年8月21日（火）
～9月9日（日）

【開催日数】 第1会場 25日間

第2会場 18日間

【入場者数】 第1会場 23,423人

第2会場 4,568人

【展示資料】 第1会場
第1部「千葉の都市デザインと千葉みなと」
解説パネル等10点
図面・写真パネル21点
当初計画時ポートタワー 1/200模型
現行ポートタワー 1/200模型
第2会場 第2部

「千葉港の歴史とみなとオアシス千葉みなと」

解説パネル等4点

図面・写真パネル67点

清掃兼油回収船べいくりん模型

清掃兼油回収船べいくりん映像資料

清掃兼油回収船べいくりん回収物一式

J F E スチール鉄鋼スラグ製品等一式

みなとオアシス登録証

【主催】 千葉市みなと活性化協議会・
千葉ポートタワー・千葉県立美術館

【展示協力】 国土交通省関東地方整備局
国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所
千葉県県土整備部港湾課
千葉県県土整備部千葉港湾事務所
文化庁国立近現代建築資料館
千葉市立郷土博物館
千葉県立関宿城博物館
千葉県立房総のむら
千葉ポートサービス
千葉共同サイロ株式会社

J F E スチール株式会社

東 健一、須田 あかり

【関連事業】 ワークショップ

「ぼくたちがつくるみらいの千葉みなと」

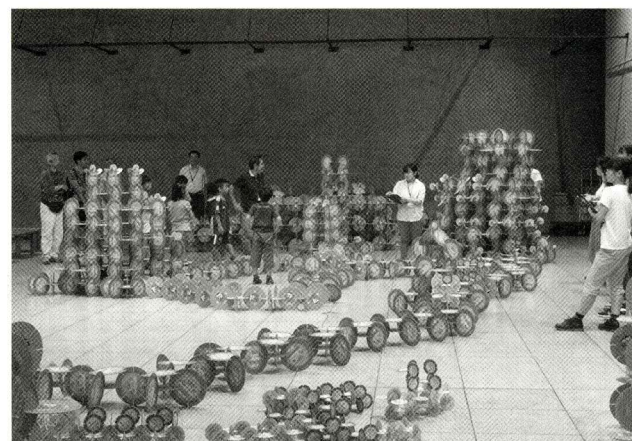
平成30年8月25日（土）13:00～15:30



「ちばみなとのいま・そしてみらい」
会場風景（ポートタワー1階市民ギャラリー）



「ちばみなとのいま・そしてみらい」
会場風景（千葉県立美術館第7展示室）



ワークショップ
「ぼくたちがつくるみらいの千葉みなと」

PARADISE AIR共同企画 # 1

6 アリシヤ・ロガルスカ：闇に唄えば

パラダイスエア*との共同企画第1弾である本展は、移民や労働といった現代社会の不透明な問題に焦点を当て、リサーチとフィールドワークをもとにした制作を行うポーランド出身の作家アリシヤ・ロガルスカ（Alicja Rogalska）の映像作品を展示した。

【会 期】 平成30年11月20日（火）～12月2日（日）

【開催日数】 12日間

【会 場】 第7展示室

【展示点数】 4点

【入場者数】 3,077人

【主 催】 千葉県立美術館、一般社団法人PAIR

【協 力】 長谷川新

【翻訳協力】 田村かのこ、吉田侑李

No	作家名	作品名	制作年	所蔵者
1	アリシヤ・ロガルスカ	Chiaroscuro City Series	2011	作家蔵
2	アリシヤ・ロガルスカ	Broniów Song	2012	作家蔵
3	アリシヤ・ロガルスカ	Dreamed Revolution	2014-15	作家蔵
4	アリシヤ・ロガルスカ	My Friend's Job	2016-17	作家蔵

*パラダイスエア（PARADISE AIR）について

主催：一般社団法人PAIR

助成：松戸市、文化庁（平成30年度文化芸術創造拠点形成事業）

特別協力：株式会社浜友商事

認定：公益財団法人 企業メセナ協議会

千葉県松戸市を拠点とするアーティスト・イン・レジデンス（芸術家に一定期間滞在場所と制作場所を提供し、移動と制作活動を支援する取り組み）。かつて水戸街道の宿場町として栄えた松戸の歴史と伝統を踏まえた「一宿一芸」をコンセプトに、これまで200人以上の国内外のアーティストを受け入れている。アリシヤ・ロガルスカはパラダイスエアのロングステイ・プログラム2018（2018年10月1日～12月5日）に参加し、「(不)可能性のエクササイズ Exercises in (Im)possibility」と題したプロジェクトに取り組んだ。一方、フローレンス・ラム、イエンス・ムールホッフ、ティム・ルーダ、トビアス・ルーダは、2019年1月中旬から下旬にかけて同施設に滞在し、千葉県立美術館に通って共同プロジェクトに取り組んだ。

PARADISE AIR共同企画 # 2

7 You Will Find Me in the Garden

ドイツを拠点に活動する4人の美術家（フローレンス・ラムFlorence Lam、イエンス・ムールホッフJens Mühlhoff、ティム・ルーダTim Löhde、トビアス・ルーダTobias Löhde）による共同プロジェクトである。美術館の倉庫にあった備品を第7展示室に配置し、映像と音楽を加えることで有機的な「庭garden」を作り出す実験的な空間インスタレーションを行った。和室では、それぞれが個々に制作した映像作品も展示した。

【会 期】 平成31年1月19日（土）～1月23日（水）

1月18日 公開制作

1月19日 10:00～12:00 アーティスト・トーク

【開催日数】 4日間

【会 場】 第7展示室、和室

【展示点数】 5点

【入場者数】 1,286人

【主 催】 千葉県立美術館、一般社団法人PAIR

No	作家名	作品名	制作年	所蔵者
1	フローレンス・ラム、イエンス・ムールホッフ、ティム・ルーダ、トビアス・ルーダ	You Will Find Me in the Garden (第7展示室を会場とする空間インスタレーション)	2019	
2	イエンス・ムールホッフ	Infinitely Homeless	2018	作家蔵
3	ティム・ルーダ	Window Cleaner	2015	作家蔵
4	フローレンス・ラム	Invisible Kári	2017	作家蔵
5	トビアス・ルーダ	Reaktor Prêt	2018	作家蔵



「You Will Find Me in the Garden」会場風景

■ 普 及 事 業 ■

Education & Promotion

1 展覧会関連事業

企画展関連事業

●記念対談 中山忠彦の美をめぐって

中山忠彦氏と瀧悌三氏による対談形式の講演会。話は中山氏の少年期、上京して師の伊藤清永氏や友人達との思い出や当時の生活、裸婦像時代を経て生涯のモデルとなる夫人との出会いから着衣像への転換、アンティーク衣装への傾倒などの足跡。モデルと画家、高度成長期だった時代背景、衣裳の役割、写実を巡る思索など、同時代を過ごしたお二人の会話を堪能した。

【日 時】 平成30年11月24日（土）

14:00～15:30

【会 場】 講堂

【講 師】 中山忠彦氏（画家）・瀧悌三氏（美術評論家）

【参加者数】 162名

●ワークショップ じぶんサイズあーと

中山忠彦氏の作品を鑑賞し、作家の描く等身大以上の大きさのドレスを着用した人物作品の数々から得られた印象をもとに、自分の大きさで作品を制作した。ダンボール紙を材料に、自分の型をとった土台に色紙や色シールなどで洋服や顔などの部分を装飾した。完成した作品をアトリエ棟の庭で展示し、工夫した点や感想を述べあった。

【日 時】 平成30年11月17日（土） 13:00～15:30

【会 場】 第1アトリエ

【対 象】 小学生親子

【参加者数】 6名



記念対談
「中山忠彦の
美をめぐって」



ワークショップ
「じぶんサイズあーと」

アート・コレクション・プラス

「具象彫刻の今ー彫刻家宮坂慎司と県美の収蔵作家たちー」関連事業

●ギャラリートーク

「彫刻に触れる・タッチツアーへようこそ」

視覚に障がいのある方を対象に、展示された宮坂慎司氏の彫刻作品に触れながら鑑賞するギャラリートークを行った。宮坂氏自身が講師として参加者を案内した。参加者は彫刻作品に触れることで気づいたり感じたことを、作者である宮坂氏に言葉で伝えたり問いかけたりして作品を鑑賞してまわった。

【日 時】 平成31年3月16日（土） 10:30～11:30

【会 場】 第7展示室

【講 師】 宮坂慎司氏（彫刻家）

【参加者数】 1名

●芸術文化講演会 神戸峰男「彫刻の世界」

彫刻家であり日本芸術院会員の神戸峰男氏による芸術文化講演会を実施した。作家自身の制作風景をたどりながら、彫刻の魅力についてわかりやすくお話をして頂いた。特に、現在制作中である徳川家康の5mを超える騎馬像の制作の様子をスライドに映しながら解説された場面は、彫刻家ならではのスケールの大きさを体感することができ、印象深い講演会となった。

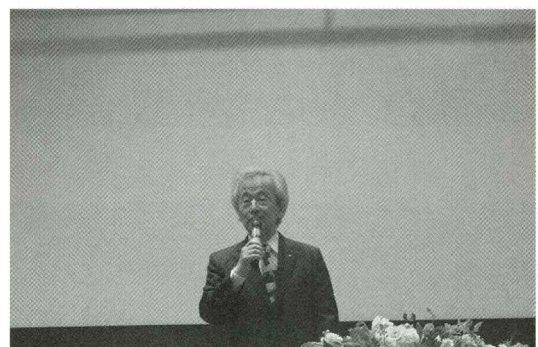
【日 時】 平成31年3月16日（土） 14:00～15:30

【会 場】 講堂

【講 師】 神戸峰男氏

（彫刻家、日本芸術院会員、名古屋芸術大学名誉教授）

【参加者数】 59名



芸術文化講演会「彫刻の世界」

2 ワークショップ

主に子どもを対象にした美術館での創作体験活動を通して、美術館の利用促進を図るため、展覧会に因んだ内容などのワークショップを以下のとおり開催した。

第1回 こどもの日スペシャルワークショップ こどもの日記念カンバッジをつくろう

こどもの日に来館した記念に、当日の申し込みで自由に参加できる創作体験。好みの色の用紙に、描画する、または数十色から選んだ色紙で型抜きした図柄（動物やハートなどの模様十数種から）を組み合わせてデザインし、カンバッジを制作した。作品を身に付けて撮影するコーナーを設けた。

【日 時】 平成30年5月5日（土・祝）
10:00～12:00、13:00～15:00

【会 場】 第6展示室

【対 象】 幼児から一般

【参加者数】 96名

第2回 きらめきガラスであーと

はがき大のガラスの面にアクリル絵具で、動物や好きなもの、プレゼントしたいものなどを題材に、ガラス絵の制作に取り組み、竹串で絵具を削って透けた線を加えたり、色紙やアルミ箔でコラージュするなど画面構成を楽しんだ。背景に好みの色紙を配し、額に入れ完成した。全員で作品の鑑賞会を行った。

【日 時】 平成30年6月16日（土） 13:00～15:30

【会 場】 第2アトリエ

【対 象】 小学生

【参加者数】 34名

第3回 ぼくたちがつくるみらいの千葉みなと

みなとオアシス千葉みなと登録記念「ちばみなとのいま・そしてみらい」展に関連し、海と陸の2つのチームに分かれ、タワーや水族館、レストランのある船など未来の情景を想像して、円盤型のビルダーカードで組み立てた。作品は、開催日から展覧会終了日まで展示した。

【日 時】 平成30年8月25日（土） 13:00～15:30

【会 場】 第7展示室

【対 象】 小学生

【参加者数】 6名

第4回 オリジナルモノレールをつくろう

千葉都市モノレール株式会社と共催のワークショップ。20分の1の大きさのモノレール模型に、色のシールやカラーダンボール紙で作った部品を貼り、乗ってみたいデザインのモノレールを制作した。完成した作品は、11月19日から12月2日まで千葉都市モノレール千葉駅構内のギャラリーで展示した。

【日 時】 平成30年9月29日（土） 13:00～15:30

【会 場】 千葉都市モノレール本社会議室

【対 象】 小学生の親子

【参加者数】 28名

【展示期間】 11月20日（火）～12月2日（日）

第5回 「具象彫刻の今－彫刻家宮坂慎司と県美の収蔵作家たち－」関連事業

粘土で遊ぼう－彫刻家になってみよう－

「具象彫刻の今」展関連のワークショップ。彫刻家を講師に招いて、塑像彫刻の制作工程を体験した。粘土でおめんの原型をつくり、蠟と石膏を刷毛で載せ、原型の粘土をくり抜いて型にした。型に石膏を入れ、固まったら外側の型を取り除くと、粘土の原型が同形の石膏彫刻に置き換わった。

【日 時】 平成31年2月16日（土） 13:00～15:30

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 宮坂慎司氏

【対 象】 小学生と希望の保護者

【参加者数】 25名



粘土で遊ぼう－彫刻家になってみよう－

3 実技講座

陶芸講座(基礎)一使いたくなる器をつくるうー

陶芸初心者を対象に、4kgの信楽粘土を使用しマグカップ(板づくり)、茶碗、花器(紐づくり)の3種を制作した。成形、削り、釉掛けの工程を経験し、陶芸についての基礎的な知識や技法を身に付け、楽しさを味わうことができた。

【日 時】 平成30年5月16日(水)、17日(木)、
18日(金)、24日(木)、6月6日(水)、
14日(木)
全6回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 鈴木久美子 氏

【受講者数】 13名

陶芸講座(応用)一皿づくりと加飾を学ぼうー

陶芸経験者を対象に、5kgの信楽粘土を使い、皿、花器等を制作した。手回しのろくろで直径20cm～25cm程度の皿を作り、素焼き後に呉須で和紙染めを行った。花器等は大き目に形を作り、白化粧泥と黒化粧泥を使って線象嵌を施すなど、仕上がりを工夫した新たな技法を学び、陶芸の奥深さを感じ取ることができた。

【日 時】 平成30年7月4日(水)、5日(木)、
6日(金)、12日(木)、25日(水)、26日(木)、
8月9日(木)
全7回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 鈴木久美子 氏

【受講者数】 22名

ホリデーアート・蜜蝋画Ⅰ

古くからある「蜜蝋画」の技法を用いた抽象表現作品を制作した。画面にコラージュと蜜蝋の層の重なりをつくり、さらにニードルで傷をつけた上から墨汁をかけて偶然の効果を生じさせ、ミニアイロンで熱しながら余分な蜜蝋をティッシュで吸い取り画面に蜜蝋の濃淡の変化が生まれ、完成度の高い作品ができた。

【日 時】 平成30年10月27日(土)、28日(日)
全2回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 上田靖之 氏

【受講者数】 10名

金工(鍛金)講座

初心者から経験者を対象に、あて金、しめ錠など道具の扱いと基礎的な鍛金技法を身に付け、銅板を立体的な器にする面白さを学んだ。日常に使用できる器を7日間で丁寧に仕上げることができた。

【日 時】 平成30年11月8日(木)、13日(火)、
15日(木)、20日(火)、22日(木)、27日(火)、
29日(木)
全7回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 平山記通 氏

【受講者数】 15名

ホリデーアート・蜜蝋画Ⅱ

古くからある「蜜蝋画」の技法を用いた抽象表現作品を制作した。画面にコラージュと蜜蝋の層の重なりをつくり、さらにニードルで傷をつけた上から墨汁をかけて偶然の効果を生じさせ、ミニアイロンで熱しながら余分な蜜蝋をティッシュで吸い取り画面に蜜蝋の濃淡の変化が生まれ、完成度の高い作品ができた。

【日 時】 平成30年12月1日(土)、2日(日)
全2回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 上田靖之 氏

【受講者数】 19名

篆刻講座

名前の中の文字などから一文字の陰刻・陽刻と、二文字の陰刻・陽刻をつくることを通して篆刻の歴史などの基礎的な知識や道具の扱いについて学んだ。静かな雰囲気の中で個別指導を受けながら制作を楽しんだ。

【日 時】 平成31年1月25日(金)、2月1日(金)、
8日(金)、15日(金)
全4回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 那須大卿 氏

【受講者数】 20名



実技講座
金工(鍛金)

4 博学連携事業

貸出用学習キット

県内の学校等に当館所有の下記の学習キットを学習支援キットとして貸し出した。

(1) 日本画学習BOX

中学校 1 件

(2) 複製画

小学校 1 件 中学校 1 件 社会教育施設 1 件

(3) バーチャルミュージアム（アートカード含む）

大学 1 件 特別支援学校 1 件

(4) ビルダーカード

小学校 1 件

出張授業・移動美術館ワークショップ等

当館の職員が学校等に出向き、先生方と協力して授業を行った。

(1) 日本画素材BOXを使用したプログラム

なし

(2) ビルダーカードを使用したプログラム

小学校 8 件・中学校 1 件・近隣施設 3 件

(3) 複製画を使用したプログラム

中学校 1 件

(4) バーチャルミュージアムを利用したプログラム

なし

美術館講座

「美術館講座」は、社会教育施設としての美術館の役割を学び、専門性の高いキャリア教育を実践することを目的に、千葉県立幕張総合高等学校と千葉県立美術館との連携事業として、平成20年度より実施している事業である。平成23年度より改修による美術館閉館のため一時中断したが、平成27年度より全35時間の実習を条件に「学外演習」として1単位授与される現在の内容で再開して4年目となる。ワークショップスタッフ体験、学習支援キットを用いた学習体験、作品の展示や取り扱い等の学芸員体験、展示作品を用いたギャラリートーク等を行った。

【日 時】 平成30年6月2日（土）、9日（土）、15日（金・祝）、16日（土）、23日（土）、7月1日（日）、15日（日）（全7回）

【受講生数】 3名

高校生のための美術館セミナー

学生の職業意識の向上を図るため、県庁における就業体験の機会の提供を受け、大学生・高校生をインターン

シップ実習生として受け入れて実施した。バックヤードツアー、展示作品の鑑賞をファシリテートする学芸員体験、学習キット体験、作品研究、ギャラリートーク等を行った。

【日 時】 平成30年7月31日（火）～8月2日（木）、11月7日（水）、8日（木）

【受講生数】 10名

（県立高校5校8名、私立高校1校2名）

美術館体験学習

1. 中学生職場体験

中学生が働くことの意味を考え、自分の進路や将来の職業について考える機会とするために、職場体験学習を受け入れ実施した。全2日間の日程で、バックヤードツアー、展示作品鑑賞ツアー、学習キット体験、野外作品のメンテナンス・清掃作業等を行った。

【日 時】 平成30年6月20日（水）～21日（木）、9月19日（水）～20日（木）、11月7日（水）～8日（木）、11月14日（水）～15日（木）

【受講生数】 7校20名

2. 学校団体体験学習

美術館に来館した学校団体を対象に、アトリエや展示室を会場として、カンバヅ作りやビルダーカードを用いた造形活動等の創作体験活動を実施した。特にビルダーカードによる造形学習は、小学校や特別支援学校に好評で、リピーターとなる団体も増加しており、ワークショップ等を含めると、保・幼稚園児から大学生までそれぞれのニーズに応じた幅広い活動が可能となっている。出前授業や職員研修の依頼も少なくなく、鑑賞学習との併用によるスクールプログラムの案内などの成果も期待していきたい。

【参加者数】 ※来館団体のみ

保・幼稚園－1園40名

小学校－3校159名、中学校－1校20名、

特別支援学校－4校38名

大学－1校13名

教師のためのアートガイダンス

県内の小、中、特別支援学校の教員を対象に、新しい学習指導要領に示された学校の図工・美術教育における美術館利用の促進及び学校教育の推進に資することを目的として、美術館と学校との連携による1日体験研修を実施した。内容は以下の通りとした。

①展示作品をもとにした対話型鑑賞

②常設彫刻作品を子どもの視点で鑑賞する彫刻探検ツアー

③第7展示室を会場とするビルダーカード体験

④パスタマシーンを使ったカーボン版画創作体験

また、美術館ならではの体験活動を重視した社会体験研修として、中堅教諭等資質向上研修、フォローアップ研修等、千葉県、千葉市の教員を受け入れた研修も実施している。

【日 時】 平成30年7月24日（火）～26日（木）、
8月3日（金）、1月22日（火）

【受講者数】 59名

ケンビーおもしろ鑑賞教室

当館に常設展示されている37点の彫刻をわかりやすく鑑賞していくためのプログラムである「彫刻探検ツアー」を実施した。対象者は幼稚園児から一般鑑賞者まで幅広く、平成29年度より活用を図っている「彫刻鑑賞ガイド」及び「常設展案内・彫刻」を参照しながら、対話型の鑑賞を行った。展示作品の中には触れて楽しむことのできる彫刻もあり、子ども用に作成した「彫刻探検ツアー」のリーフレットでは、クイズ形式で展示作品を鑑賞することもできるなど、幼稚園や小学校の来館団体、親子連れ的一般鑑賞者などに特に好評を得た。

【参加者数】 ※来館団体のみ

保・幼稚園－3園127名

小学校－5校286名

中学校－1校20名

特別支援学校－7校116名



美術館体験学習（中学生職場体験）



教師のためのアートガイダンス

100人ワークショップ・等身大から始めよう

「100人ワークショップ・等身大から始めよう」は、千葉県立美術館と千葉大学教育学部加藤修研究室との連携事業として、平成22年度より実施しているワークショップである。県内の中学校美術部の生徒たちが集まり、千葉大学の学生（千葉大学普遍教育教養展開科目「アートをつくる」受講生）がファシリテーターとなって、自然木を材料としてシュロ縄で結び、組み上げて巨大なオブジェを完成させるワークショップである。9回目を迎える今回は「生命感と広がり」をテーマに、5校47人の中学生が参加した。

【日 時】 平成30年10月27日（土）

【会 場】 中庭（芝生広場）

【参加者数】 中学生47名、教師8名、千葉大学生10名

【展示期間】 平成30年10月27日（土）～12月22日（土）

博物館実習

大学又は大学院で学芸員課程を履修し、博物館実習単位修得希望学生を対象に、博物館実習を実施した。展覧会作品のギャラリートーク、ワークショップの準備と実践および展示用キャプション文の作成、展覧会準備、作品の取り扱いなど、教育普及事業から学芸事業に関して多岐にわたる実務体験を行った。ギャラリートークで扱った各人の作品についての解説を、展覧会開催期間中成果として掲示した。

【期 日】 平成30年8月22日（水）～28日（火）

【受講者数】 6大学 6名



美術館講座

5 地域連携事業

成田アート博覧会

成田市にある成田山参道の仲町商店街を会場に、千葉県立美術館と成田中学校、成田小学校、成田市観光協会、仲町街づくり協議会との共催で、アートプロジェクト「第8回成田アート博覧会」を実施した。仲町商店街の30店舗及び成田観光館3Fギャラリーに、成田市内で学ぶ小・中学生の絵画とともに、国際色豊かな鑑賞者を想定して、日本語と英語による作品解説文を添えて展示した。学校・地域との連携を図り、美術を通してそれぞれを活性化する取り組みを目指した。

【日 時】平成30年11月17日（土）～12月2日（日）

【会 場】成田山参道仲町商店街
成田観光館3Fギャラリー

【展示点数】小学校16点、中学校48点（計64点）



成田アート博覧会

6 活動協力など

友の会

（1）目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

（2）組織

会員数 個人会員 265名

役 員 会長1名、副会長2名、監事2名

理 事 若干名

（3）事業

①友の会だより「しおさい」の発行
年4回各500部印刷し、会員に配布した。

②第42回葉美会展の開催

【会 期】平成30年9月19日（水）～24日（日）

【会 場】第6展示室

【出品点数】62点

【展示点数】109点

③One Day Art Trip

・One Day Art Trip in 金谷 & 木更津

【期 日】平成30年6月9日（土）

【行 先】富津市金谷美術館・木更津市郷土博物館金のすず

【参加者数】12名

・波の伊八と南房総の古刹

【期 日】平成30年11月11日（日）

【行 先】鴨川市郷土資料館・鴨川市吉保八幡神社・南房総市智蔵寺、石堂寺

【参加者数】34名

④館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

⑤その他

絵葉書、図書、企画展関連商品の販売（図録、絵葉書、グッズ）

（4）平成30年度友の会実技講座

①水彩画講座1

【日 時】平成30年5月9日（水）～11日（金）
16日（水）～18日（金）

【講 師】青柳光枝 氏

【受講者数】24名

②洋画講座1

【日 時】平成30年5月23日（水）・25日（金）・
27日（日）、29日（火）～31日（木）

【講 師】竹久秀樹 氏

【受講者数】27名

③日本画講座

【日 時】平成30年6月7日（木）～10日（日）・

12日（火）・13日（水）

【講 師】 中村寛治 氏

【受講者数】 14名

④洋画講座2

【日 時】 平成30年6月27日（水）～29日（金）
7月4日（水）～6日（金）

【講 師】 羽生智樹 氏

【受講者数】 34名

⑤洋画講座3

【日 時】 平成30年7月18日（水）～20日（金）
24日（火）～26日（木）

【講 師】 濱田 清 氏

【受講者数】 27名

⑥写真講座

【日 時】 平成30年7月21日（土）・22日（日）
8月5日（日）・26日（日）

【講 師】 片岡 伸 氏

【受講者数】 11名

⑦洋画講座4

【日 時】 平成30年8月1日（水）・2日（木）・5日（日）
7日（火）～9日（木）

【講 師】 田辺知治 氏

【受講者数】 24名

⑧水彩画講座2

【日 時】 平成30年10月17日（水）～19日（金）
24日（水）～26日（金）

【講 師】 青柳光江 氏

【受講者数】 29名

⑨はじめてのアクリル画教室

【日 時】 平成30年11月3日（土）・4日（日）

【講 師】 伊藤香奈 氏

【受講者数】 6名

⑩洋画講座5

【日 時】 平成30年11月7日（水）～9日（金）
14日（水）～16日（金）

【講 師】 羽生智樹 氏

【受講者数】 31名

⑪洋画講座6

【日 時】 平成31年1月16日（水）・17日（金）・
20日（日）・22日（火）23日（水）・25日（金）

【講 師】 竹久秀樹 氏

【受講者数】 29名

⑫洋画講座7

【日 時】 平成31年2月5日（火）～7日（木）・13
日（水）14日（木）・17日（日）

【講 師】 田辺知治 氏

【受講者数】 25名

⑬洋画講座8

【日 時】 平成31年3月6日（水）～8日（金）
12日（火）～14日（木）

【講 師】 濱田 清 氏

【受講者数】 32名

ボランティア

情報資料室ボランティアの活動は、情報資料室のレファレンスを中心として、広報資料の配架、図録等の整理を行った。ワークショップボランティアの活動は、実施に合わせた研修や準備を行い、当日の制作や受付などのスタッフとしてワークショップの運営に携わった。ワークショップは、実人数12名、延べ人数43名であった。植草学園大学の学生もワークショップボランティアに参加し、実人数17名、延べ人数60名の協力を得ることができた。

本年度末の登録者数は、26名であった。

7 情報資料室

情報資料室は、美術館への理解と関心を高め、美術振興に資することを目的に昭和55年9月に開室した。一般向けの美術図書や美術雑誌、展覧会図録などの図書資料を来館者の閲覧に供している。さらに、図書資料以外にも、情報資料室前のロビー等にポスター、チラシ、案内状を掲出し、各地の展覧会やイベント、講座等の美術に関する情報を提供している。

なお、平成30年度は37冊の寄贈を受け、収蔵図書数は6758冊となった。

【面 積】 172.77㎡

【席 数】 8席

【開室時間】 13:00～16:00

【休 室 日】 休館日、その他の臨時休館日

蔵書冊数

	平成29年度	平成30年度	合計
	収蔵図書	受贈図書	
総記	3,190冊	18冊	3,208冊
絵画	2,079冊	11冊	2,090冊
彫刻	313冊	1冊	314冊
工芸	421冊	1冊	422冊
版画	184冊	1冊	185冊
デザイン・建築	121冊	3冊	124冊
写真・映像	196冊	2冊	198冊
書	217冊	0冊	217冊
合計	6,721冊	37冊	6,758冊

■ 調査・収集事業 ■
Investigation & Collecting

1 平成30年度貸出資料一覧

作者名	作品名	展覧会名	会場・会期	申請者（貸出先）
鈴木方鶴	一笑千山青	第27回玄鳥書院展	千葉県立美術館 平成30.7.3～7.8	玄鳥書院
高村光太郎	手	「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」	沖縄県立博物館・美術館 平成30.4.27～6.24	沖縄県立博物館・美術館
岸田劉生	霽れたる冬之日	「岸田劉生展」	豊橋市美術館 平成30.7.21～9.2 ふくやま美術館 平成30.9.15～11.4	ふくやま美術館
ドービニー	オワーズ川のほとり	「シャルル＝フランソワ・ドービニー」展	山梨県立美術館 平成30.10.20～12.16 ひろしま美術館 平成31.1.3～3.24 損保ジャパン日本興亜美術館 平成31.4.20～令和元.6.30 鹿児島市立美術館 令和元.7.19～9.1 三重県立美術館 令和元.9.7～11.4	山梨県立美術館
浅井忠	藁屋根 漁婦	「向井潤吉 人物交流記」展	世田谷美術館 平成30.9.8～11.4	世田谷美術館
浅井 忠	フォンテンブローの夕景 農婦 パリ公園 欧州市場風俗 グレーの塔 フォンテンブローの森 京都高等芸学校の庭 奈良郊外 絵皿・鳳凰 図案草稿（花木） 図案草稿（溪流） 橋 白樺 図案草稿（風俗図） 大原女 にわとり 図案草稿（花瓶図） 図案草稿（花瓶2種） 夕顔の図 図案草稿（花瓶図） 図案草稿（戸棚図） 花	「フランスの中の日本 浅井忠と アール・ヌーヴォー」展	ヤマザキマザック美術館 平成30.11.17～ 平成31.2.17	ヤマザキマザック美術館
東山魁夷	春雪	「生誕110年 東山魁夷展」	京都国立近代美術館 平成30.8.29～10.8 国立新美術館 平成30.10.24～12.3	日本経済新聞社 文化事業局文化事業部
石井柏亭	信州風景	企画展「石井柏亭と信州の美術— 県展70周年記念」	諏訪市美術館 平成30.7.28～9.24	諏訪市美術館
深山美峰	四君子 襲獲 飛鶴	ミニトピックス展 「県指定無形文化財 蒔絵 —深山美峰の技—」	千葉県立中央博物館 平成30.6.2～6.24	千葉県立中央博物館
小倉惣次郎	伊藤博文像	明治150年記念特別展	小平市平櫛田中彫刻美術館 平成30.9.14～11.25	小平市平櫛田中彫刻美術館
岡崎雪聲	二宮尊徳置物	「彫刻コトハジメ」		

石井林響	木華開耶姫	「生誕135年 石井林響 ー千葉に出づる風雲児ー」展	千葉市美術館 平成30.11.28～平成31.1.14	千葉市美術館
	瑞鶴			
	羅浮仙女			
	高士観瀑			
	雨後浮船			
	桃源			
	漁樵			
	梅花書屋			
	竹花鳥			
	嵐			
	葦と白鳥			
	寒山拾得			
	白閑鳥（襖）			
	浦島太郎図			
	岩魚つり			
	老松白鷺之図			
	唐獅子			
	湖山清秋			
	蓬莱仙境之図			
	溪山射冬図（秋景山水）			
	舟遊図			
	松茸			
小倉惣次郎	明治天皇像	「文明開化の力 ーわたしたち、江戸時代を卒業します！ ー」展	千葉県立関宿城博物館 平成30.10.5～平成30.12.2	千葉県立関宿城博物館

2 平成30年度新収蔵資料一覧

種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法
洋画	原勝郎	夫人像	不詳	キャンバス・油彩	寄附
研究資料	原勝郎	デッサン一式	不詳	紙・鉛筆、ペンなど	寄附
研究資料	原勝郎	写真アルバム	不詳		寄附

3 平成30年度収蔵資料数一覧

（平成31年3月31日現在）

	購入	寄附	保管換	合計
日本画	128	187	26	341
洋画	355	553	41	949
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	602	10	761
書	110	163	14	287
版画	175	106	5	286
合計	1,000	1,660	107	2,767
研究資料	243	1,341	54	1,638

■ 管 理 運 営 ■

Administration

千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

1 組 織

千葉県立美術館

庶務課

- 文書の収受、発送、整理及び保存に関すること
- 予算の経理、決算その他会計事務に関すること
- 職員の給与、服務その他の人事及び福利厚生に関すること
- 関係機関及び団体との連絡調整に関すること
- 個人情報等に関すること
- 教育財産管理に関すること
- その他の他の課に属さない事務

普及課

- 講演会、講座、ワークショップ等の企画・運営に関すること
- 美術館講座、博物館実習、インターンシップ、ガイダンス等の企画・運営に関すること
- 年報、館報等の編集及び発行その他広報普及活動に関すること
- 美術資料及び情報の整理及び公開利用に関すること
- 団体展の展示、運営に関すること

学芸課

- 美術資料の収集、保管及び展示に関すること
- 美術館資料の技術的、専門的な調査研究に関すること
- 企画展覧会等の開催に関すること
- 美術館資料の貸借に関すること

千葉県博物館協議会

- 教育機関設置条例第21条の2の規程により組織、運営している。
- 館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から県教育委員会が任命している。

千葉県立美術館友の会

- 館の活動と提携し、展覧会・実技講座・美術鑑賞の旅の開催、会報の発行などを行っている。

2 平成30年度職員

館長	太田章
副館長兼庶務課長事務取扱	渡辺真理
副館長	渡邊修一
庶務課	鎌田操
副主幹	安井美智代
主査	市原功吉
主査	大野匠巳
主事	塚本吉胤
主事	

普及課	課長	倉内郁子
	主任上席研究員	長谷川 広
	主任上席研究員	荒井喜代美
	主任上席研究員	廣川政和
	主任上席研究員	関口達彦
	研究員	山田隆行
学芸課	課長	相川順子
	主任上席研究員	中松れい
	上席研究員	金田幸代
	研究員	松田直子
	研究員	古屋梨奈
	臨時的任用職員	常葉美香

3 平成 30 年度利用状況

(1) 平成30年度入館者一覧表

	開館 日数	入場者計	個 人									
			計	有 料			無 料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	4,695	4,652	512	484	28	4,140	12	2	52	3,952	122
5月	27	7,930	7,907	678	632	46	7,229	14	0	103	6,941	171
6月	26	7,473	7,296	548	503	45	6,748	120	4	183	6,248	193
7月	26	8,436	8,205	647	594	53	7,558	66	0	397	6,855	240
8月	27	8,291	8,209	944	859	85	7,265	86	0	465	6,481	233
9月	23	7,047	6,916	723	681	42	6,193	65	0	69	5,873	186
10月	26	13,169	13,169	0	0	0	13,169	0	0	48	13,097	24
11月	26	9,297	9,181	577	550	27	8,604	995	40	226	7,040	303
12月	23	27,291	27,143	573	543	30	26,570	113	0	358	25,859	240
1月	23	5,786	5,786	689	661	28	5,097	139	0	46	4,776	136
2月	24	7,324	7,128	437	404	33	6,691	164	6	180	6,102	239
3月	27	4,899	4,838	572	524	48	4,266	43	0	132	3,946	145
計	304	111,638	110,430	6,900	6,435	465	103,530	1,817	52	2,259	97,170	2,232

	開館 日数	団 体										
		計	有 料			無 料						団体数
			計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	43	4	4	0	39	0	0	0	39	0	1
5月	27	23	0	-	-	23	-	-	-	23	0	1
6月	26	177	74	74	0	103	0	0	20	83	0	5
7月	26	231	44	44	0	187	4	0	80	52	51	6
8月	27	82	20	20	0	62	0	0	0	26	36	3
9月	23	131	0	0	0	131	8	0	101	22	0	5
10月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	26	116	9	9	-	107	-	-	-	103	4	4
12月	23	148	7	7	0	141	7	0	114	20	0	2
1月	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	24	196	2	2	0	194	0	0	95	99	0	6
3月	27	61	3	3	0	58	0	0	0	58	0	3
計	304	1,208	163	163	0	1,045	19	0	410	525	91	36

(2) 平成30年度団体展一覧表

No.	団体名	展示内容	利用期間	出品点数	入場者数
1	日本水彩画会千葉県支部	水彩画	4/2～4/8	211	1,450
2	武蔵野美術大学校友会千葉支部	洋画・日本画・デザイン・工芸等	4/16～4/22	46	586
3	千葉新協美術会	絵画(油彩、水彩)	4/16～4/22	183	780
4	日本画四季	日本画	4/23～4/30	64	1,084
5	一般社団法人新構造社千葉支部	絵画・写真・工芸	4/23～4/30	129	1,079
6	仲間達展実行委員会	デッサン・水彩・油彩・パステル・アクリル等	4/23～4/30	65	1,100
7	歩会	彫刻	4/23～5/6	35	2,156
8	千葉県表具経師内装組合連合会	掛軸、屏風、額、その他(創作)	5/1～5/6	42	811
9	東華書院	書道	5/1～5/6	348	1,206
10	千葉アマチュア美術会	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	5/7～5/13	625	1,722
11	千葉県水墨会	水墨画、墨彩画、団扇絵等	5/14～5/20	371	2,008
12	平成美術会	油画(大作・100号・中心)	5/21～5/27	85	878
13	(公社)日本工芸会東日本支部 千葉研究会	伝統工芸	5/21～5/27	52	699
14	二科千葉支部	洋画	5/28～6/3	106	2,185
15	千葉県書道協会	書道	6/4～6/10	472	978
16	千葉多摩美会	絵画・立体・工芸・デザイン・建築・写真他	6/11～6/17	50	1,200
17	一陽会千葉支部	油彩、水彩、アクリル、版画、ガラス絵等	6/11～6/17	117	1,621
18	写団モノクロ	写真	6/18～6/24	125	874
19	水彩連盟千葉支部	水彩画	6/18～6/24	121	1,538
20	千葉一水会	洋画	6/18～6/24	48	1,415
21	フォトサークル「ミルフィーユ」	写真	6/25～7/1	73	1,046
22	千葉県水彩会	水彩画	7/2～7/8	59	924
23	千葉二紀会	油画	7/2～7/8	62	789
24	玄鳥書院	書道	7/2～7/8	37	691
25	千葉市水墨画同好会連合会	水墨画・墨彩画・掛軸	7/9～7/16	492	1,615
26	千葉県教育研究会書写教育部会	書写	7/17～7/22	650	1,911
27	日本美術愛好同人 習美会	洋画・日本画・水墨画	7/17～7/22	240	1,114
28	千葉県木彫会	彫刻	7/17～7/22	35	248
29	千葉県写真連盟	写真	7/23～8/5	250	2,100
30	三軌会千葉支部	絵画・彫刻・工芸・写真	7/23～7/29	98	770
31	公益社団法人 千葉県医師会	洋画、日本画、工芸、書、写真	7/23～7/29	119	690
32	千葉県特別支援学校校長会	絵画・写真・書道・陶芸等	7/23～7/29	586	957
33	中央美術協会千葉支部	油画・水彩画・日本画(公募展)	7/30～8/5	174	1,075
34	ハングル同好会	ハングル書道、韓国伝統工芸・風景写真	7/30～8/5	104	477
35	新世紀美術協会千葉支部	油画・水彩画・版画	8/6～8/12	52	589
36	第一美術協会千葉県支部	絵画・彫刻・工芸、イラスト等	8/6～8/12	138	817
37	千葉硯心会	書道	8/6～8/12	33	487
38	いてふ会	彫刻	8/6～8/12	31	672
39	白扇書道会	書道	8/13～8/19	2,310	2,798
40	千葉県大学美術連盟	絵画等	8/20～8/26	58	450
41	太平洋美術会千葉支部	油彩・水彩・版画・彫刻・染織	8/20～8/26	159	909
42	なの花書道会	書道	8/20～8/26	196	817
43	キャンノンフォトクラブ千葉	写真	8/27～9/2	66	879
44	(一社)千葉県労働者福祉協議会	絵画・書・写真	8/27～9/2	179	953
45	陽画会	絵画(油画)	8/27～9/2	68	867
46	千葉県教育芸術祭実行委員会	総合芸術	9/3～9/9	85	693
47	千葉県写真美術会	写真	9/3～9/17	215	3,045
48	千葉デザイン協会	デザイン	9/10～9/24	109	1,790
49	千葉県高等学校文化連盟 写真専門部会	写真	9/10～9/17	1,481	1,564
50	現代美術家協会千葉支部	絵画・デザイン・写真・立体・工芸	9/18～9/24	259	1,071
51	千葉県立美術館友の会	洋画(油、パステル)・日本画・水彩・写真	9/18～9/24	109	1,096

No.	団体名	展示内容	利用期間	出品点数	入場者数
52	千葉県美術会	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	9/25～10/21	2,296	12,948
53	千葉県教育芸術祭実行委員会	絵画・書道・工芸	10/22～10/28	485	1,326
54	一般社団法人二科会写真部千葉支部	写真	10/22～10/28	67	937
55	社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉協会	絵画・書・写真・手工芸等	10/22～10/28	204	1,160
56	日本春秋書院千葉書道団	書道	10/29～11/4	97	763
57	平和を願う千葉県美術家の会	油画・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・彫刻・工芸・陶芸・インスタレーション	10/29～11/4	256	1,525
58	創土会	陶芸	10/29～11/4	289	898
59	千葉県高等学校文化連盟 書道専門部会	書道	11/5～11/11	752	1,877
60	千葉県高等学校文化連盟 美術工芸専門部会	絵画・工芸	11/12～11/18	2,861	2,380
61	伝統工芸陶葉会	工芸	11/19～11/25	63	598
62	文化書道千葉県連合会	書道	11/19～11/25	296	704
63	千葉県がり版アート孔版画研究会	がり版版画	11/19～11/25	211	1,268
64	東方国際美術展実行委員会	水墨画・書道	11/26～12/2	168	711
65	創造美術会千葉支部	絵画・工芸、他	11/26～12/2	53	571
66	株式会社千葉日報社	絵画、デザイン	12/3～12/16	8,741	24,972
67	日本童謡の書協会	書道	12/17～12/24	1,454	1,154
68	写団 富士愛好会	富士山の写真	1/7～1/14	100	1,614
69	千葉読売写真クラブ	写真	1/7～1/20	380	2,986
70	千葉県生涯大学校陶芸親和会	陶芸	1/21～1/27	340	1,100
71	千葉大学教育学部美術科・図工科	油彩・水彩・版画・彫刻・デザインなど	2/4～2/11	21	589
72	一般社団法人書星会	書道	2/4～2/11	241	993
73	一般社団法人書星会	書道	2/4～2/11	641	2,281
74	千葉美術アカデミー	絵画、粘土、工作、陶芸	2/12～2/17	1,600	2,800
75	千葉大学教育学部書道副専攻	書道	2/12～2/17	68	493
76	株式会社千葉日報社	書道	2/18～2/24	332	1,015
77	千葉県写真連盟	写真	2/25～3/3	67	1,035
78	全日本写真連盟千葉県本部	写真	2/25～3/3	415	1,309
79	翔洋サロン	洋画	3/4～3/10	34	488
80	一般社団法人書星会	書道	3/11～3/17	1,566	1,533
81	千葉県立松戸高等学校	美術	3/18～3/24	300	608
82	千葉県立幕張総合高等学校	書道・美術	3/18～3/24	106	544

4 平成30年度利用案内

■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分

休館日 月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館）
年末年始（12月28日～1月4日）

■入場料 （※（）内は20名以上の団体料金）

アート・コレクション展

一般	300円（240円）
高校・大学生	150円（120円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

平成30年度企画展「中山忠彦—永遠の美を求めて—」

一般	500円（400円）
高校・大学生	250円（200円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

■交通

電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅下車徒歩約10分

千葉駅からバス利用

千葉駅西口《26番のりば》

千葉みなとループバス（タワーコース）「千葉ポートタワー」行『県立美術館入口』（千葉みなとリハビリ病院）
下車徒歩約3分

自動車

東京方面から 東関東自動車道『湾岸習志野』I.Cから約20分

成田方面から 京葉道路『穴川』I.Cから約20分

東金方面から 千葉東金道路『千葉東』I.Cから約20分

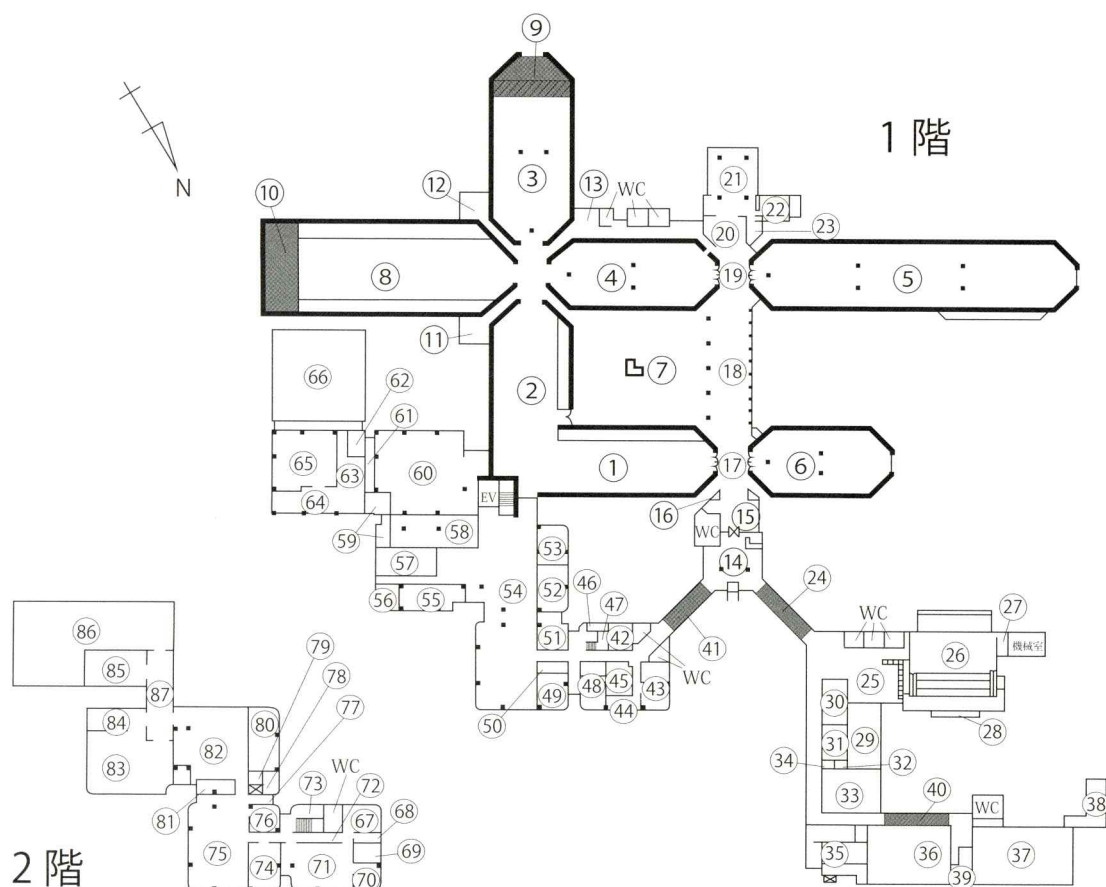
館山方面から 京葉道路『松ヶ丘』I.Cから約20分

駐車場無料（78台利用可・うち2台は身体障害者用）

5 施設

展示棟		管理棟		県民アトリエ棟	
		(1階)		1F 機械室	25.92㎡
玄関ホール	102.40㎡	第2会議室	22.62㎡	講堂倉庫	8.64㎡
クローク	91.80㎡	更衣室	14.38㎡	講堂	259.24㎡
倉庫A	2.70㎡	医務室	21.18㎡	コントロール室	30.33㎡
倉庫B	2.70㎡	書庫	22.02㎡	ホール側便所	29.97㎡
第1展示室	437.76㎡	警備員室	43.59㎡	情報資料室	172.77㎡
第2展示室	400.32㎡	第1会議室	20.15㎡	情報資料室倉庫	4.70㎡
第3展示室	469.08㎡	倉庫	7.19㎡	事務室	22.76㎡
第4展示室	403.20㎡	湯沸室	5.19㎡	研修室	74.70㎡
第5展示室	824.19㎡	便所	24.54㎡	研修室倉庫	4.23㎡
第6展示室	330.58㎡	宿直室	34.20㎡	第1アトリエ	155.70㎡
第7展示室	566.56㎡	物置	9.92㎡	第2アトリエ	184.31㎡
第8展示室	864.61㎡	用務員室	31.83㎡	第3アトリエ	95.47㎡
食堂	119.52㎡	審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡	アトリエ側便所	20.77㎡
厨房	36.00㎡	消毒室	31.79㎡	荷解室	25.65㎡
従業員控室	17.28㎡	資料倉庫	124.25㎡	窯場	27.17㎡
食堂ホール	49.20㎡	荷解梱包室	52.67㎡	窯場倉庫	6.66㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡	荷扱人室	21.94㎡	ホールその他	352.67㎡
ロビー	335.52㎡	機械室	51.74㎡	計 ③	1,501.66㎡
第1休憩室	23.04㎡	廊下等	123.97㎡	合 計	10,663.57㎡
第2休憩室	23.04㎡	小 計	1,183.85㎡	(①+②+③)	
第3休憩室	23.04㎡	(2階)			
便所A	30.24㎡	館長室	33.27㎡	〈参考〉	
便所B	23.76㎡	副館長室	23.42㎡	*展示室総面積	4,296.30㎡
身障者用便所	7.92㎡	第1応接室	14.67㎡	*収蔵庫総面積	771.50㎡
コントロール室	20.16㎡	第2応接室	14.55㎡		
フィルター室	28.92㎡	庶務課室	112.34㎡		
工作室	31.00㎡	会議室	43.84㎡		
発電気室	25.00㎡	学芸課・普及課室	195.32㎡		
電気室	123.20㎡	学芸相談室	23.91㎡		
ポンプ室	76.80㎡	研究工作室	216.49㎡		
機械室	305.20㎡	写真スタジオ	54.30㎡		
機械室(新)	283.82㎡	器材室	6.74㎡		
高架水槽室	11.46㎡	暗室	12.19㎡		
E. V機械室	27.28㎡	第1収蔵室	184.40㎡		
E. V廻り	54.56㎡	第2収蔵室	42.81㎡		
ダクトスペース	35.68㎡	第3・4収蔵室	544.29㎡		
廊下等	123.48㎡	E. V前室	16.39㎡		
計 ①	6,343.02㎡	便所	21.50㎡		
		湯沸室A	3.24㎡		
		// B	6.87㎡		
		廊下等	60.94㎡		
		ダクトスペースその他	3.56㎡	敷地面積	33,057.87㎡
		小 計	1,635.04㎡	建物面積	8,777.94㎡
		計 ②	2,818.89㎡	延床面積	10,663.57㎡

施設平面図



《展示棟》

- 1 第1展示室
- 2 第2展示室
- 3 第3展示室
- 4 第4展示室
- 5 第5展示室
- 6 第6展示室
- 7 第7展示室
- 8 第8展示室
- 9 第3展示室倉庫
- 10 第8展示室倉庫
- 11 休憩室1
- 12 休憩室2
- 13 休憩室3
- 14 玄関ホール
- 15 売店
- 16 清掃用具置場
- 17 小展示室ロビー
- 18 ロビー
- 19 中展示室ロビー
- 20 食堂ホール
- 21 食堂
- 22 厨房
- 23 厨房控室

《アトリエ棟》

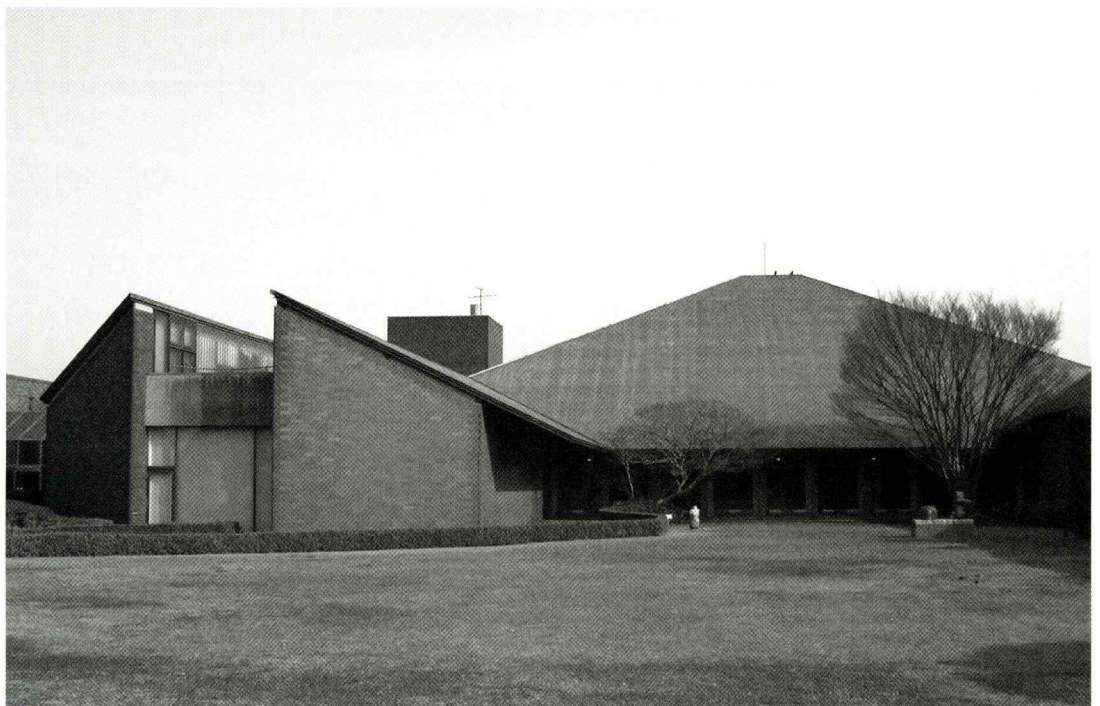
- 24 アトリエ通路
- 25 ホール
- 26 講堂
- 27 講堂倉庫
- 28 放送室
- 29 情報資料室
- 30 事務室
- 31 書庫
- 32 情報資料室倉庫
- 33 研修室
- 34 研修室倉庫
- 35 第3アトリエ(和室)
- 36 第1アトリエ
- 37 第2アトリエ
- 38 窯場
- 39 アトリエ搬入口
- 40 アトリエ廊下

《管理棟》

- 41 管理棟通路
- 42 第1会議室
- 43 第2会議室
- 44 医務室

- 45 文書庫
- 46 1F 給湯室
- 47 用務員倉庫
- 48 警備室
- 49 警備員室
- 50 清掃用具置場
- 51 用務員室
- 52 機械室
- 53 煙蒸室
- 54 審査室
- 55 荷解梱包保管室
- 56 控室
- 57 車庫
- 58 資料倉庫
- 59 コントロール室
- 60 B1 機械室
- 61 フィルター室
- 62 発電機室
- 63 工作室
- 64 ポンプ室
- 65 電気室
- 66 第2機械室
- 67 館長室
- 68 応接室

- 69 資料室
- 70 副館長室
- 71 庶務課
- 72 2F 廊下
- 73 庶務給湯室
- 74 会議室
- 75 学芸・普及
- 76 学芸相談室
- 77 学芸普及給湯室
- 78 暗室
- 79 暗室倉庫
- 80 スタジオ
- 81 仮収蔵庫
- 82 研究工作室
- 83 第1収蔵庫
- 84 第2収蔵庫
- 85 第3収蔵庫
- 86 第4収蔵庫
- 87 収蔵庫前室



千葉県立美術館年報№45 平成30年度

令和元年12月25日発行

発行者 千葉県立美術館

〒 260-0024 千葉市中央区中央港1丁目10番1号

Tel. 043(242)8311

Fax. 043(241)7880

URL <http://www2.chiba-muse.or.jp/ART/>

みる ● ●
かた る ■
つく る ■